

発刊の辞

経営学部長 栗 山 直 樹

本年、創価大学経営学部は創設 40 周年の佳節を迎えています。30 周年の折には、創価大学経営学会から『人間主義の世紀を』と名づけられた単行本が発刊されました。経営学部の専門科目として 2003 年から開講された「人間主義経営論」の講義の成果をまとめたものでした。当時、本学の創立者・池田大作先生が 200 を越える名誉学術称号を受賞された偉業を慶祝申し上げるものでもありました。

本年、すでに創立者は 360 を越える名誉学術称号を世界の知性の殿堂から受賞されておられます。また、地球市民の 3 要件を提示され、創価大学の教育に重要な示唆を与えてくださったコロンビア大学ティーチャーズカレッジでのご講演から満 20 周年を迎えました。この時に、創価大学経営学論集の特集号として、人間主義経営に関する論集を刊行することができましたことは、経営学部教職員にとって喜びであり、学生の皆さまに少しでも人間主義経営を考える参考となれば幸いです。また、創立者への感謝と大学発展への決意を込めて、本号を捧げたいと願っております。

人間主義経営は、創価大学経営学部の教育と研究の柱であり、学部の目的は、この理念に基づいた実践を社会に展開していくことにあります。この歩みには終着点がなく、永遠に探求の道を進んでいかなければなりません。また、人間主義の教育を経た卒業生を通して展開しうるものであると考えます。本号が、一つの足跡となれば、望外の喜びです。

本号の編集委員長には、山中馨教授になっていただき、大きなご苦勞をおかけしました。人間主義経営の講義を立ち上げたときの経営学部長であり、本号の取りまとめに当たっていただいたことは、不思議な縁を感じるとともに、ご貢献に対しての感謝の念にたえません。

本年も過労死やブラック企業が大きな問題になっております。このようなときこそ、本学が発信する人間主義経営は光を放つものであると確信し、更なる教育と研究の充実に努めてまいります。

2016 年 11 月 18 日